

鹿児島県医療法人協会立看護専門学校自己点検自己評価

～令和4年度まとめ～

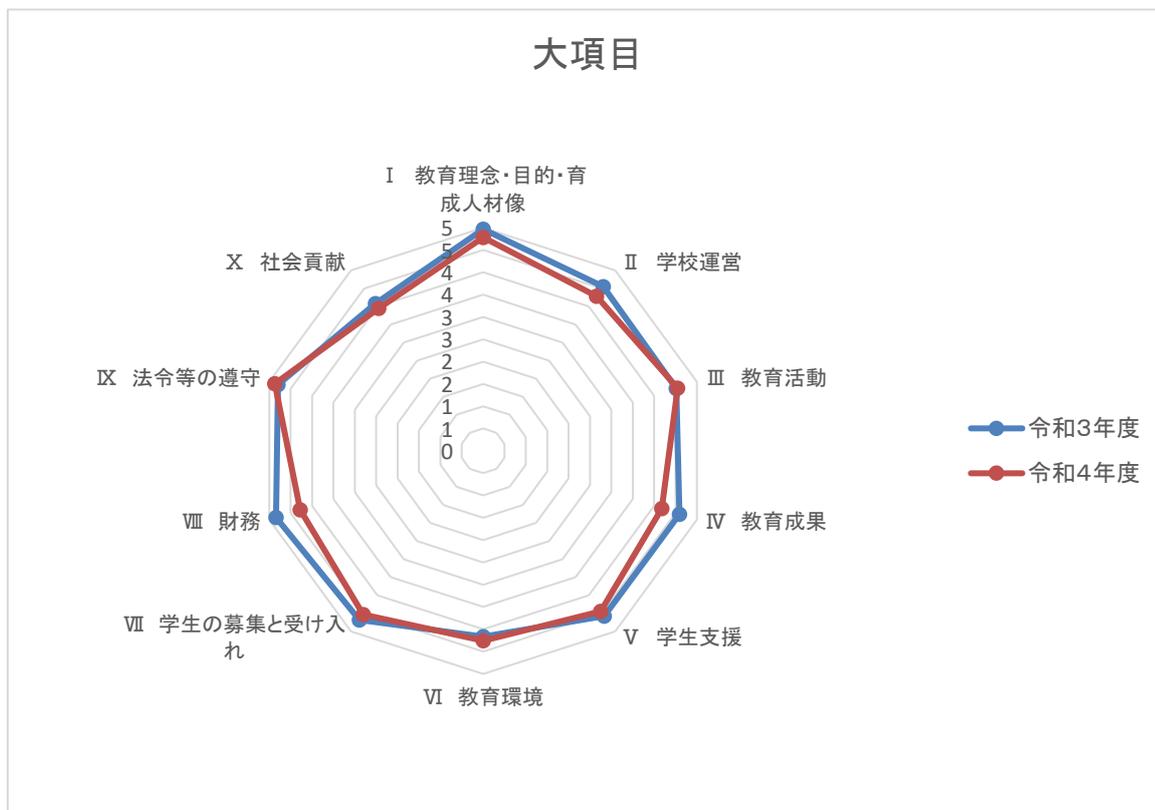
I. 本校における自己点検・自己評価についての取り組み

令和4年度は102単位へと大幅に教育内容や編成が変わった新カリキュラムの開始年度となり、コロナ禍の影響が続く中で慌ただしいスタートとなった。着実にカリキュラムが実践されるよう注意を払い、実習は感染対策を続行しながら臨床との連携で可能な限り効果的に実習が行えるように取り組んだ。旧カリと新カリと並行しながらの令和4年度の教育活動を、教職員の活動目標にそって各自で振り返り学校評価を実施し、評価報告書としてまとめた。

2. 自己点検・自己評価結果（令和4年度）

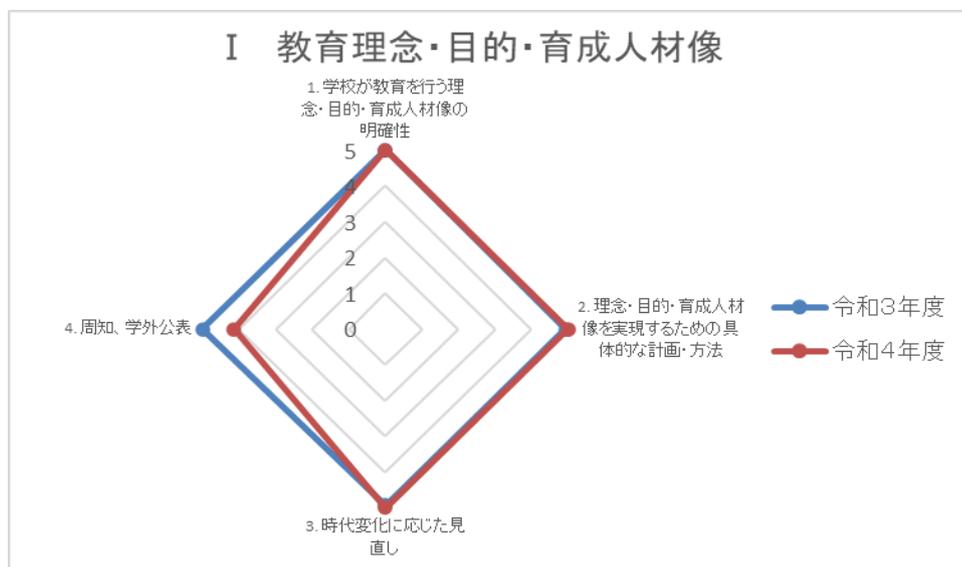
以下は大項目（I～X）毎にその平均値をグラフに示した。次の各領域について評価された数値を点検項目別に集計し平均値を出し、振り返りを行った。

昨年度同様全ての項目において4以上で推移した。詳細を項目ごとに振り返る。



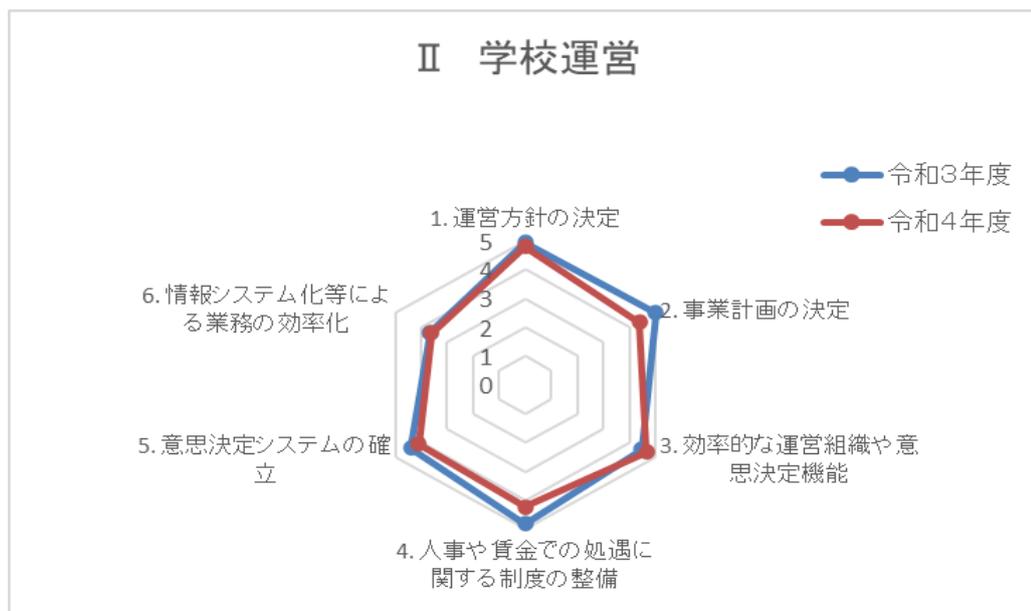
1. 教育理念・目的・育成人材像

例年通りホームページでの教育理念等の公表を行っている。今年度新カリキュラム開始に伴い、設置主体の求める人材育成、教育理念を再度考えるにあたり、人材育成について具体的なレベルまで振り返る機会があった。地域における看護力が求められる現代において、設置主体である鹿児島県医療法人協会の目指す人材育成をさらに広く周知する工夫を行っていく。



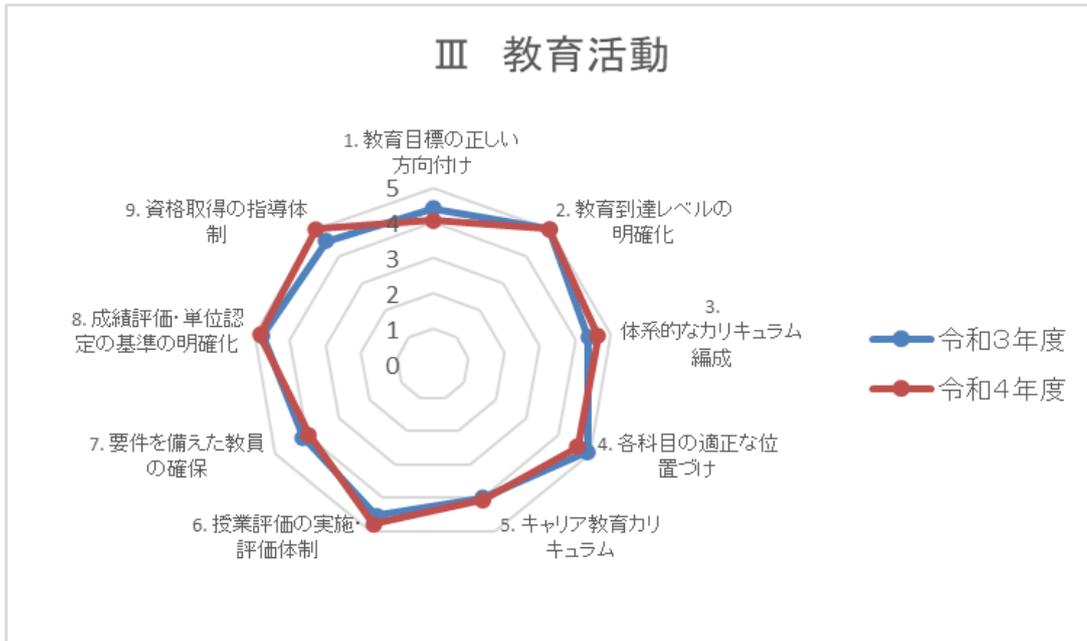
II 学校運営

6つの項目のうち4つは昨年とおおよそ変化はなかったが「事業計画の決定」「人事や賃金での処遇に関する制度の整備」が昨年度よりやや低下している。次年度の事業計画の決定や周知は例年通り行ってきた。社会背景も鑑み、処遇については検討を継続していく。



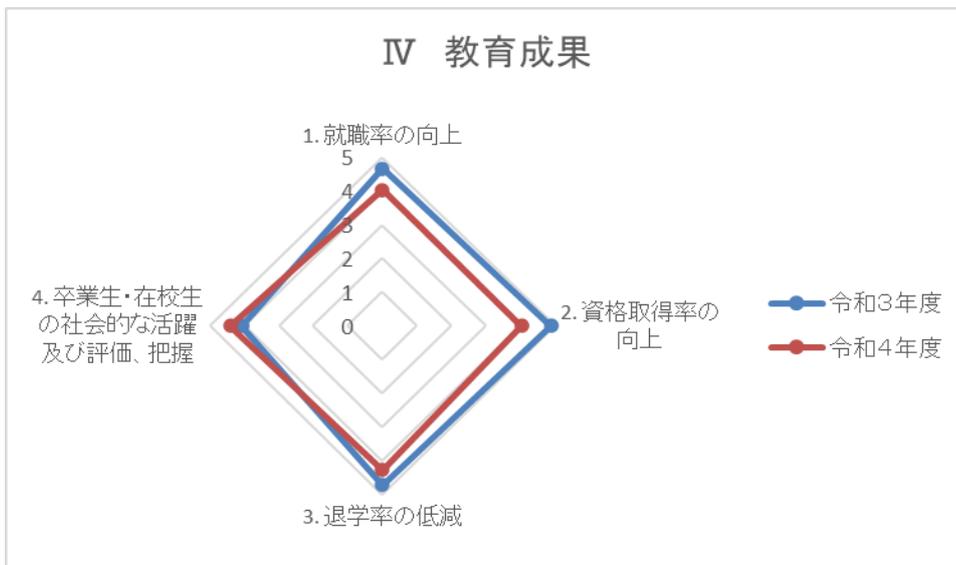
III 教育活動

昨年度と大きな変化はない。新カリキュラムの開始に伴い「体系的なカリキュラム編成」はやや改善している。一方「各科目の適正な位置づけ」「教育目標の正しい方向付け」がやや低下している。新カリキュラム開始により、各教科担当者はシラバスに沿った具体的な授業案を作成・実践していく中で迷いも生じていた。その為、年度途中で具体的な科目の教育内容、方法の理解や共有を教員内で行っていった。これからも教員での検討、共有は継続していく必要がある。



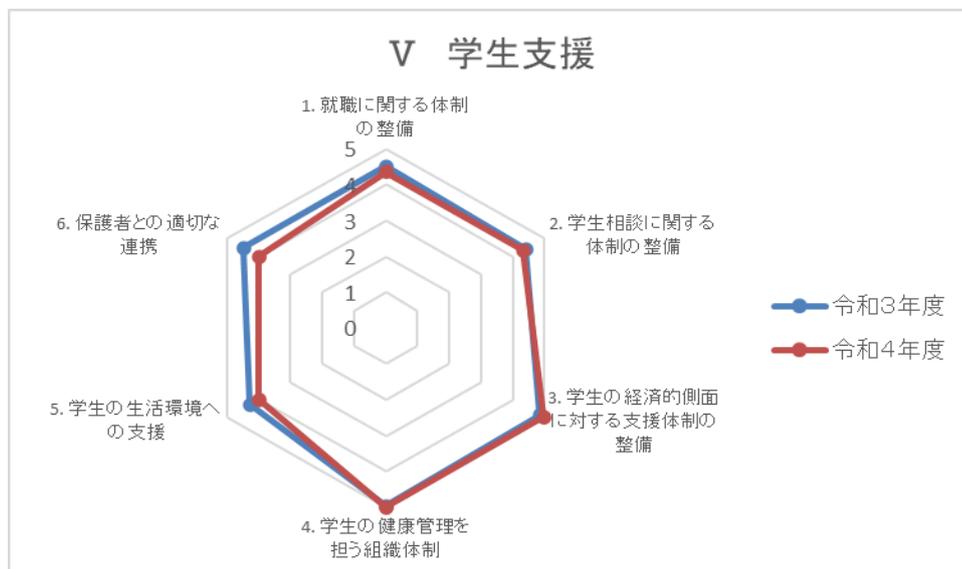
IV 教育成果

今年度は県内就職者と助産学科への進学者で9割超えを維持しており地域で活躍する人材育成に貢献している。コロナ禍の中、感染のリスクも乗り越え全員看護師国家試験を受験できたことはよかったが、本年度は全員合格とならず、学力の二極化に対応した学習支援への取り組みを積極的に行っていく。



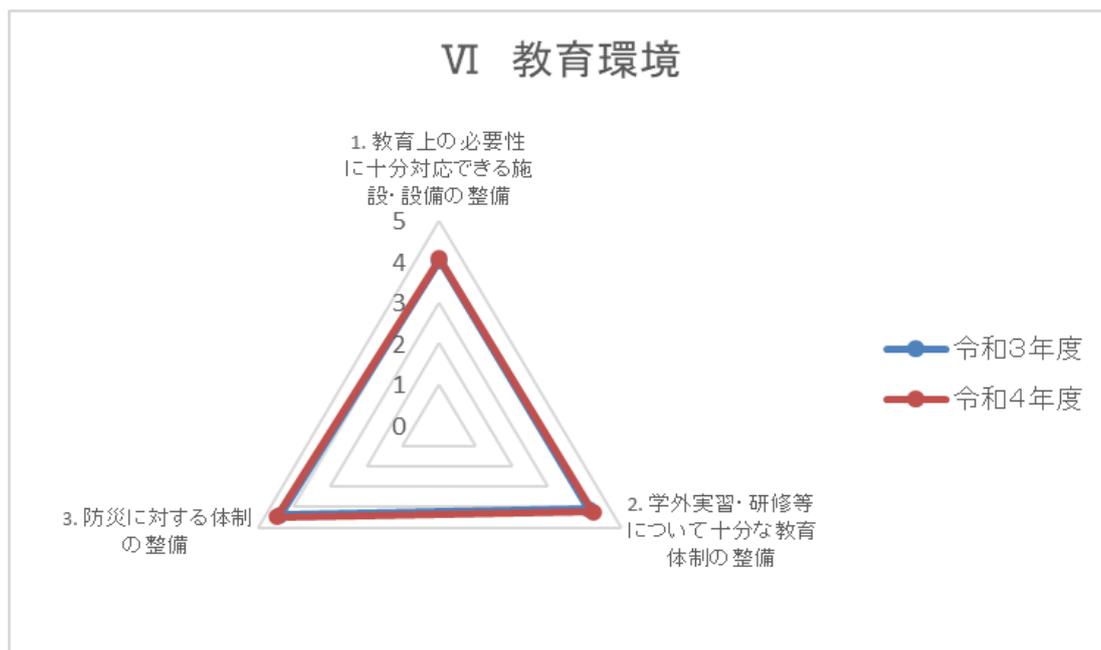
V 学生支援

6つの項目のうち4つは昨年とあまり変化はなかったが「保護者との適切な連携」「学生の生活環境への支援」がやや低下した。保護者との連携は常々重要と考えて、保護者説明会を実施している。近年、生活管理力の低下が大きくなり、保護者等と現状を共有し、双方から支援したいと考える。生活改善や学業達成は難しく、これからも保護者等と連携を継続していく。



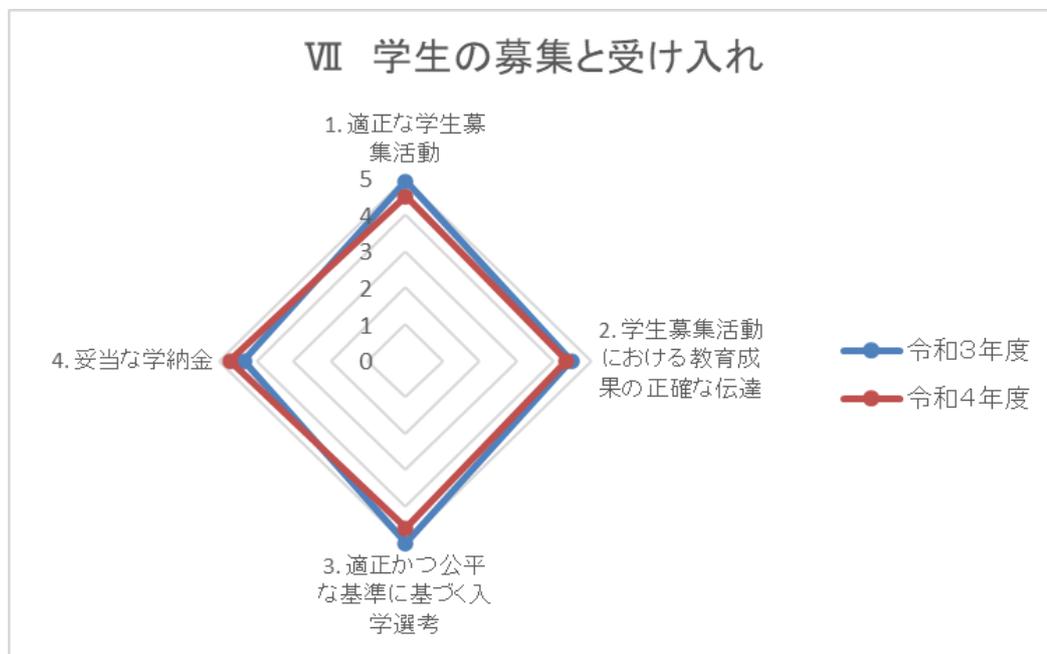
VI 教育環境

3学年とも Wi-Fi をつかって遠隔授業が可能となり、コロナ禍でも対応ができた。教員、学生とも少しずつ ICT に慣れてきたこともあり、昨年と同様の評価であった。



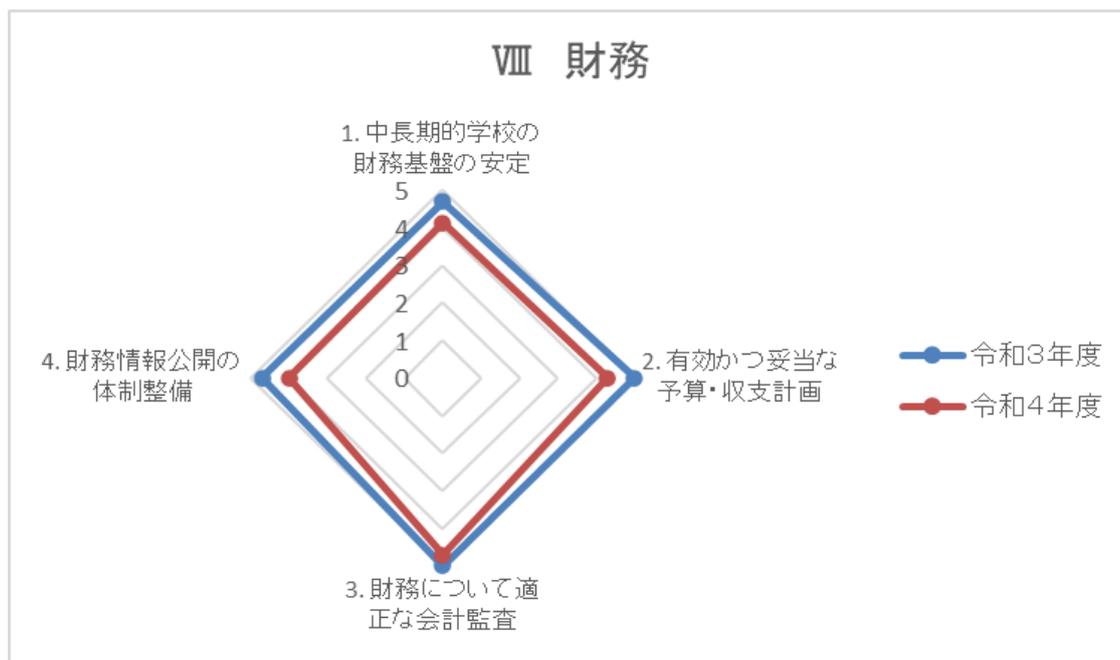
VII 学生募集と受け入れ

令和4年度は全教員が入学試験、高校訪問に参加し高校との関係性向上を図り、定員を満たすことができた。しかし県内の看護大学開設に伴い、専門学校における学生募集は例年より厳しい状況となった。また、設置主体の理念に立ち戻り、今後入学選考を工夫していくこととなり検討会を設置し活動していく。



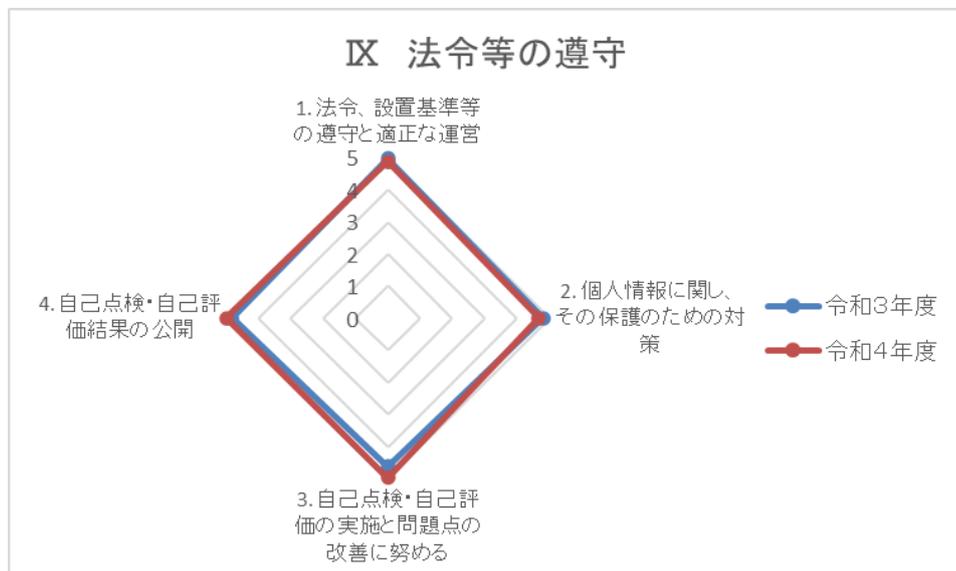
VIII 財務

当校は毎年6月に医療法人協会総会が行われ、収支報告が行われ公開されている。社会状況の変化に対する不安から中長期的財政に対する評価減少につながったと考える。



IX 法令などの遵守

当校では長期間、県による調査がなかったため、12月に県の現地実地調査が行われ、適切に教育活動が行われていることが認められた。なお教員講習未受講の教員のため今後も資格習得支援を継続していく。また年度末に全教員が自己の係業務、教育活動の自己点検、自己評価の報告会を行っており次年度の改善につなげている。



X 社会貢献

コロナ禍の影響が残ったため、感染防止対策によりボランティアなど外部との交流は令和4年度も行えなかった。学校祭は地域清掃活動を行い地域貢献、地域住民との交流を行った。また、地域にある保育園の災害避難訓練や地域の災害時指定避難所としての役割も果たしている。

